

小原雄平 道井良樹 片桐俊次
 新野アコヤ なしお成 坂本ともこ
 吉岡優希 (以上 電動夏子安置システム) 小林知未
 下平久美子 廣瀬響乃 熊坂貢児
 (類プロダクション) (smokers)
 小泉智雅 緑川大陸 ドロonz石本
 (株式会社ミカーレ)

脚本：竹田哲士 演出：中村公平
 (電動夏子安置システム) (劇団レトロノート)

Title

電動夏子安置システム第40回公演
尾を啜えたり愚者の口

About

2000年6月に結成。明治大学演劇研究部にて6作品を執筆、うち数本を演出する主宰・竹田哲士を中心に、同部引退有志により発足。以後、ワークショップなど公演外活動を経てスタッフ・キャストを募り、同年11月、旗揚げ公演に至る。

演劇という表現手段の中から娯楽性を重視し、限りなく万人が共感できる『笑い』を探し出して提供できる喜劇の創造を目指す。「喜劇=笑える悲劇」の理念の下、公演においては、存在しないようにして確実に有る笑いの方法論から「シチュエーション」に着目し、理不尽な制約やルールに縛られた非現実的な状況下で翻弄される登場人物たちの、必死の抵抗と報われなさを描く事で笑いを生み出す。時に物語性や情感を排除してまで、一つの笑いを生み出すために論理を積み重ねて導き出す手法は「ロジカル・コメディ」と称される劇団独特の作風となる。

Story

男女は偶然出会った。男の様子は隣に座っていても明らかに異質であった。何より彼女は、触れた人の心が読めるという特殊な能力の為、彼がこれから行おうとしている事がわかる。それをどうやって阻止すればいいのか。銀行の待合ベンチを今、静かな緊張が包んでいた。これは異能力をもった女の、いわばファンタジー小説。

男は対立する組の組長殺書を指示したとして、取り調べを受けていた。外部の目のない密室で、刑事による取り調べは苛烈を極めたが、長くにわたりその道で生き、官憲に抗ってきた男は決して心を折らなかつた。本当に腐っているのはどちらかを証明する為に。これは社会に取り残されてもなお闘う男の、いわばピカレスク小説。

女は毎日のように、手紙を封筒にしまって丁寧に糊付けする。彼女にとっては、自分の声を届ける『口』の役割があるのかもしれない。手元には、まだ封筒に入られていない多くの手紙がある。彼女は黙々と書き、そして封をして、これらの行く先を想う。これは喋らない女の、いわば不条理小説。

これら趣の異なる3本の原稿を前に、本来、純文学作家であるはずの嵯峨光隆は、どういうジャンルの作家なのか、自分でもわからなくなっている。仕事場に押し掛けた各出版社の編集者たちは、それぞれ担当する作品について理不尽な修正だけをたたき要求し、結末の執筆を催促するだけである。その要求には世間の声を過度に勘案した自主規制が垣間見えた。

「表現の自由とはなんなのか」

ふと浮かんだその疑問で、かつて途中で書くのを諦めた作品の事を思い出した。

作品の舞台は1948年。都内の銀行で不可解な毒殺事件があった年であり、進駐軍による新聞の事前検閲が終了する年でもある。

論理の喜劇。

Schedule

2019年5月7日(火)~12日(日)

5/7(火)	5/8(水)	5/9(木)	5/10(金)	5/11(土)	5/12(日)
		15:00★		13:00	12:00
19:30	19:30	19:30	19:30	17:00★	16:00

★・・・アフターイベント ◆・・・金夜クジ ♪・・・小道具即売会

- ・アフターイベント・ゲストをお招きしてのワイワイ企画
- ・金夜くじ・抽選で劇団員よりプレゼントを差し上げます
- ・小道具即売会・劇で使った小道具の一部を即売します
- ・7日・8日公演はお得な価格でご観劇いただけます(要予約)

Ticket

全席自由席
 前売券：4000円
 7日&8日公演の前売券：3700円(要予約)
 当日券：4500円

大学生以下：2000円(要予約・要証明証・枚数限定)
 夏子券：0円(お名前が「夏子」様は全公演無料)
 ※開演の40分前に受付開始・開演の30分前に開場となります。
 ※開場時、振込のお客様より入場となります。

チケット発売日：2019年3月24日 AM8:00

ご予約方法：カルテットオンラインより受付

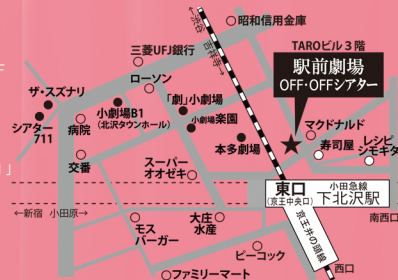
<https://www.quartet-online.net/ticket/gusyanokuchi>

【お問い合わせ】info@dna-system.com

Theater

駅前劇場

東京都世田谷区
 北沢2-11-8 TAROビル3F
 03-3414-0019
 下北沢駅
 小田急線「東口」、
 京王井の頭線「京王中央口」
 改札から徒歩3~4分



【脚本】竹田哲士(電動夏子安置システム) 【演出】中村公平(劇団レトロノート) 【舞台監督】川崎耕平(ステージハットリザウルス) 【舞台美術】袴田長武(ハカマ団) 【照明】山内祐太 【音響プラン】佐久間修一(POCO) 【音響オペレーター】和田匡史 【衣装】新野アコヤ/坂本ともこ 【小道具】小原雄平/片桐俊次/吉岡優希 【宣伝美術】■雄雄 【映像撮影】岡俊輔(シナト・ビジュアルクリエーション) 【写真撮影】佐藤淳一(シナト・ビジュアルクリエーション) 【WEB】竹田哲士 【総務】犬井のぞみ/じょん 【制作】道井良樹 【制作協力】西村なおこ 【企画製作】電動夏子安置システム 【協力】NPO法人S.A.I./カルテットオンライン/株式会社ミカーレ/スペースクラフト・エンタテインメント株式会社/smokers/株式会社シナト・ビジュアルクリエーション/宝井プロジェクト/トルチェスター/日本コメディ協会/ハカマ団/六尺堂/POCO/(株)ファンファーレ/明治大学演劇研究部/名酒センター/㈱オンディーナ/マセキ芸能社/類プロダクション/劇団レトロノート/渡邊卓

<http://www.dna-system.com/>